

令和7年度 第1回瑞穂町地域保健福祉審議会

会議録

日時:令和7年5月30日(金)

午後2時～午後3時

場所:町民会館ホール

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 瑞穂町地域保健福祉審議会諮問事項について
 - (2) 瑞穂町第5次地域保健福祉計画策定に係る専門分科会について
- 4 その他
 - (1) 令和7年度瑞穂町地域保健福祉審議会日程について(福祉課)
 - (2) 新型インフルエンザ等対策行動計画の改訂計画について(健康課)
- 5 閉会

出席者【委員】

村井委員	田中委員	塚原委員	杉浦委員	高水委員
原委員	海老原委員	石川委員(会長)	粕谷委員	川口委員
辰田委員	森泉委員	石蔵委員	石井委員	川鍋委員
小作委員	宮坂委員	福島委員	目黒委員	

欠席者【委員】

五十嵐委員	飯田委員	小野委員	小川委員	日野委員
-------	------	------	------	------

出席者【事務局】

青木福祉課長	上出福祉推進係長	若松障がい者支援係長	清水子育て応援課長	栗原子子育て支援係長
池田保育・幼稚園係長	和田保育・幼稚園係主査	宮澤児童館係長	島崎子ども家庭センター課長	吉岡子ども家庭支援センター係長
片野母子保健係長	吉岡子ども家庭支援センター係長	工藤健康課長	中村高齢者支援係長	千葉地域包括ケア推進係長
鳥海介護支援係長	工藤健康課長	鈴木健康係長	榎本成人保健係長	島崎地域ささえあい推進係長(社会福祉協議会)

公開・非公開の別

公開

傍聴者

1 名

会議録

1 開会

事務局より配布資料の確認。

- (1) 次第
- (2) 瑞穂町地域保健福祉審議会委員名簿
- (3) 【資料 1－1】瑞穂町地域保健福祉審議会諮問事項について
- (4) 【資料 1－2】瑞穂町第 5 次地域保健福祉計画の策定計画について
- (5) 【資料 1－3】瑞穂町第 5 次地域保健福祉計画策定スケジュール
- (6) 令和 7 年度地域保健福祉審議会日程表
- (7) 新型インフルエンザ等対策行動計画の改訂計画について
- (8) 瑞穂町こども計画

(委員及び事務局自己紹介)

2 会長あいさつ

石川会長よりあいさつ。

3 議題

(事務局 福祉推進係長)

議長については、瑞穂町地域保健福祉審議会条例第 6 条に「審議会は、会長が招集し、議長となる」とありますので、これからの進行は会長にお願いいたします。

(石川会長)

それでは議題を進めさせていただきます。議題（1）瑞穂町地域保健福祉審議会諮問事項について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 福祉課長)

(資料に基づき説明)

(石川会長)

ただいまの説明について、ご質疑ご意見等ありましたら、挙手をお願いいたします。

(石川会長)

それでは議題（2）に進ませていただきます。議題（2）瑞穂町第 5 次地域保健福祉計画策定に係る専門分科会について、事務局より説明をお願いいたします。

(1) 瑞穂町第 5 次地域保健福祉計画策定に係る専門分科会について

(事務局 福祉推進係長)

(資料に基づき説明)

(石川会長)

それでは、ただいまの件についてご質疑、ご意見はございますか。

私から質問を一つよろしいですか。次の資料に、「令和7年度 地域保健福祉審議会日程表」とありますが、これは分科会ではなく、今回のような審議会の日程で間違いないですか。

(事務局 福祉推進係長)

お配りした「令和7年度 地域保健福祉審議会日程表」は、この審議会の日程になります。また、専門分科会の日程については今後ご承諾をいただいた後でそれぞれ調整させていただきたいと考えております。

(石川会長)

ありがとうございます。他に質問はございますか。それでは専門分科会の委員の選任については、事務局に一任することよろしいでしょうか。

(承認)

(石川会長)

それでは専門分科会の委員の選任については、事務局に一任とさせていただきます。以上で本日の議題が終了しましたので、進行役を事務局に戻します。本日はご協力ありがとうございました。

(事務局 福祉推進係長)

ありがとうございました。続きまして、次第4その他になります。まず福祉課より、令和7年度瑞穂町地域保健福祉審議会日程についてご説明させていただきます。配布資料をご覧ください。

4 その他

(1) 令和7年度瑞穂町地域保健福祉審議会日程について (福祉課)

(事務局 福祉推進係長)

(資料に基づき説明)

続きまして、健康課からの報告となります。

(2) 新型インフルエンザ等対策行動計画の改定計画について (健康課)

(事務局 健康課長)

(資料に基づき説明)

「瑞穂町こども計画」の冊子配布について

(事務局 福祉推進係長)

皆様に配布させていただきました、「瑞穂町こども計画」の冊子ですが、3月の地域会の際に担当の子育て応援課よりご報告させていただいたものです。その後、製本が整いましたので、委員の皆様に配布させていただきました。報告は以上となります。

ここまですつきまして、なにかご質疑等ある方はございますか。

(村井委員)

全体の流れや計画の策定についてですが、他自治体のこのような計画策定に多く携わる中で、地域福祉計画については町の全体の福祉計画という色合いが強く、総合的な内容になると認識しています。各分野別（児童・高齢・障害）の計画については直接対象が絞られ、明確なサービスをより具体的にしていくという色合いが強いものです。比較すると、実現性の高いものが個別計画、それらを支えるための基盤となる内容が地域福祉計画になります。例えば、個別計画の内容における、情報を保障する、つながりを必要とする、といったものは共通の課題として地域福祉計画の中でも議論していく必要があります、個別計画との整合性を取ることが必要になります。そのため事務局には、個別計画との整合性を取ることが意識して他の個別計画の担当課と連携していただきたいと思います。それぞれの計画の中から地域福祉的要素の課題や意見を集約し、議論または整理していくと良いと思います。また、都市計画マスタープランや、瑞穂町長期総合計画との整合性を図りながら、福祉面からどうまちづくりをしていくかという視点をもって福祉計画をデザインしていく必要があると思います。つまりは、すべての計画に整合性を持たせた形で進めるということをや丁寧にやっていただきたいと思いますというお願いです。

それから、近年他の自治体でも使われている、「ベンチマーク指標」「アウトカム指標」と呼ばれるものについてお話をします。これは5年後、3年後に具体的にまちがどのような状態になっているかを言語化し、そこに向かって計画を作るために使用される指標です。これまでの計画では「～の充実」「～の推進をはかる」というような表現が多く、抽象的な内容になってしまっていました。特に地域福祉計画においては、具体性を持たせることは難しいです。しかし、今回の計画策定ではできる限り数字や状態で内容を表すことで、計画期間が終わった時にその状態や、数字が達成できているかによって評価ができるようにしていけたら良いと考えています。もちろん、完璧である必要はありません。ですが、スローガンから具体的な行動計画へという形で実現性の高い計画策定を目指すという共通認識が持てたらいいと思います。そのために、自分もしっかりとサポートをしていきます。

（事務局 福祉推進係長）

ありがとうございました。

次回の審議会は、令和7年7月22日午後2時より予定しています。開催通知を後日送付しますので、よろしくお願いいたします。

5 閉会

（事務局 福祉推進係長）

以上を持ちまして、令和7年度第1回瑞穂町地域保健福祉審議会を終了いたします。ありがとうございました。